

豪姫（1992）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 142分
初公開日 1992/04/11

【解説】
富士正晴の同名小説を「利休」の勅使河原宏が製作・脚本・監督した歴史ドラマ。作家の赤瀬川原平が共同脚本を、武満徹が音楽を担当した。執拗なまでに芸術品を映し出す演出と、宮沢りえの突飛なヘアスタイルが話題に。
豊臣秀吉の命により自害した千利休に代わり、利休の高弟だった古田織部が秀吉の茶頭となった。前田利家の娘で秀吉の養女となった豪姫は、男勝りの性格で織部のことを「おじい」と呼ぶほど。無残な姿で二条河原に晒された利休の生首を奪取するが、その首を見た利休の娘お吟は自殺してしまう。お吟の死に触れショックを受けた古田家庭番のウスは都を離れ、ジュンサイという名の老人と知り合った。二十年後、豪姫はウスと運命的な再会を果たすのだったが…。

【クレジット】

監督	勅使河原宏
製作	奥山和由 Kazuyoshi Okuyama
	磯部律男
	小田久栄門
	勅使河原宏
プロデューサー	杉崎重美
	西岡善信
	野村紀子
原作	富士正晴
脚本	赤瀬川原平
	勅使河原宏
撮影	森田富士郎
美術	西岡善信
編集	谷口登司夫
音楽	武満徹 Toru Takemitsu
助監督	原田徹
出演	宮沢りえ
	仲代達矢 Tatsuya Nakadai
	永澤俊矢
	松本幸四郎
	三國連太郎
	江波杏子
	井川比佐志
	すまけい

山本圭
真野響子